

土木費

土木総務事務費

683 万円

(前年度: 569万円)

(担当:建設課 事業調整係)

土木業務全般に必要な事務を行います。

- ・道路賠償責任保険料 30万円
- ・土木補助員委託料 143万円
- ・設計積算システム関係使用料等 57万円
- ・各種協議会等負担金 98万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 157万円
- ・CADソフト等導入関係費用 160万円

財源

市の負担額

683万円

道路橋梁事務費

458 万円

(前年度: 458万円)

(担当:建設課 道路河川係)

新たに市道として認定した道路や、道路の拡幅や歩道を整備するなどの改良を行った路線について、道路台帳などの整備を行います。

- ・道路台帳新規認定路線作成及び修正、路線図のデジタル化

財源

市の負担額

458万円

道路補修費

3,407 万円

(前年度: 3,211万円)

(担当:建設課 事業調整係)

道路及び道路側溝等の修繕、街路樹の剪定や除草など、道路の維持管理を行います。

(主な維持管理の内容)

- ・市道滑川中央線排水ポンプオイル交換、分解整備
- ・街路樹管理業務委託
- ・市道本江栗山線等除草業務委託
- ・路面補修及び防護柵補修
- ・道路工作物補修
- ・路面補修材の購入



舗装補修状況

財源

その他(道路占用料)

1,600万円

市の負担額

1,807万円

街灯維持費

1,920 万円

(前年度: 1,840万円)

(担当:建設課 道路河川係)

市が管理する街灯(電球、ポール、点滅器等)の維持管理を行います。

- ・電気料 1,580万円
- ・街灯修繕料 340万円

財源

市の負担額

1,920万円

土木費

除雪対策事業費

2,591 万円
(前年度: 2,462万円)

(担当:建設課 事業調整係)

除雪計画に基づき、市道の除雪や低温時には道路に凍結防止剤の散布などを行います。

- ・除雪作業委託料 1,500万円
- ・除雪車用装備品等 150万円
- ・燃料費 73万円
- ・除雪車両整備点検費 235万円
- ・除雪車両修繕費 224万円
- ・凍結防止剤 100万円



財源

市の負担額 2,591万円

消雪施設維持費

1,269 万円
(前年度: 1,260万円)

(担当:建設課 道路河川係)

消雪施設の点検・清掃など施設の維持管理を行います。

- ・消雪施設電気料 640万円
- ・消雪施設点検清掃及び清掃委託 79万円
- ・県消雪施設の市負担



財源

その他(地元等負担金) 54万円
市の負担額 1,215万円

消雪施設整備事業費

270 万円
(前年度:270万円)

(担当:建設課 道路河川係)

消雪施設のパイプの高圧洗浄やノズル・ドレン交換、揚水ポンプの取替工事等を行います。

(主な維持管理内容)

- ・魚躬揚水機場揚水ポンプ整備工事
- ・消雪ポンプ取替工事
- ・消雪パイプ高圧洗浄業務委託
- ・消雪ノズル等交換



財源

市の負担額 270万円

【拡】地域ぐるみ除雪機械導入助成費

300 万円
(前年度:156万円)

(担当:建設課 事業調整係)

除排雪組合(町内会)に対する小型除雪機械等の購入費用を助成します。

- ・小型除雪機購入費用補助
【拡】小型ホイールローダーを購入する際の助成限度額を拡大(新車に限る)



財源

市の負担額 300万円

道の駅管理運営費125 万円
(前年度:124万円)

(担当:建設課 事業調整係)

道の駅(ウェーブパークなめりかわ)のトイレ等の付帯施設の維持管理を行います。

- | | |
|-------------|------|
| ・道の駅清掃業務委託料 | 66万円 |
| ・道の駅管理委託料 | 24万円 |
| ・道の駅消耗品 | 9万円 |
| ・道の駅施設修繕料 | 12万円 |

財源

市の負担額

125万円

薬草植栽ロード事業費40 万円
(前年度:50万円)

(担当:建設課 道路河川係)

「薬のまち滑川」をアピールするため、街路樹の植樹樹に薬草を植栽します。

- ・下島上小泉線薬草植樹工事
植樹樹58か所



財源

市の負担額

40万円

滑川富山線等舗装改良費500 万円
(前年度:600万円)

(担当:建設課 道路河川係)

路面性状調査に基づき、滑川富山線等の舗装修繕を行います。

- ・滑川富山線舗装修繕工事



財源

国県支出金	250万円
借入金	220万円
市の負担額	30万円

250万円
220万円
30万円

道路付属施設改良費200 万円
(前年度:600万円)

(担当:建設課 道路河川係)

道路付属施設(街灯・標識)の点検結果に基づき、修繕を行います。

- ・下島柳原線外道路付属施設(街灯・標識)修繕工事



財源

国県支出金	100万円
借入金	90万円
市の負担額	10万円

100万円
90万円
10万円

土木費

橋梁長寿命化事業費 4,300 万円 (前年度:3,640万円)

(担当:建設課 道路河川係)

計画的な修繕の実施により、橋梁の長寿命化と維持管理費の削減を図り、効率的な維持管理を行います。

- ・安田1号橋補修工事
- ・本郷橋補修工事 外



財源

国県支出金	2,365万円
借入金	1,740万円
市の負担額	195万円

【新】高月加島町線等消雪施設整備費 1,000 万円 (前年度: 一万円)

(担当:建設課 道路河川係)

設置から30年以上経過し、老朽化により機能が低下している消雪施設の更新を行います。

- ・消雪施設調査業務委託
- ・消雪施設リフレッシュ工事



財源

国県支出金	600万円
借入金	360万円
市の負担額	40万円

【一部新】交通安全施設整備費 1,930 万円 (前年度:830万円)

(担当:生活環境課 生活安全係、建設課 道路河川係)

街灯の新設工事や転落防止用の防護柵設置工事を行います。また、町内会が設置した街灯に対して、補助金を交付します。

(建設課分)

- ・街灯設置費 90万円
- ・転落防止柵設置工事 55万円
- ・横断防止柵取替工事 55万円
- ・街灯設置費補助 70万円
- ・【新】滑川駅前線照明器具取替工事
- ・【新】滑川中央線等サインポール修繕工事

(生活環境課分)

- ・経年劣化により、都合が悪くなった警戒標識やカーブミラーを修繕します。

60万円

- ・警戒標識やカーブミラーを新たに設置します。
- ・道路区画線（道路の外側線・中央線等）の白線引きをします。

500万円

財源

市の負担額	1,930万円
-------	---------

【拡】道路改良費 2億7,000 万円 (前年度:4,200万円)

(担当:建設課 道路河川係)

町内会等からの要望や改良が必要な道路の整備を推進します。

- ・有金下梅沢線の道路改良工事
(下梅沢地内) など

整備前(寺町地内の事例)



整備後

財源

市の負担額	2億7,000万円
-------	-----------

【拡】歩道等整備費 2,500 万円

(前年度: 一万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

歩道の傷んだ舗装を直したり、歩道に街路樹用の植樹樹の整備を推進します。

- ・滑川駅前線
- ・滑川富山線

整備前



整備後



財源

市の負担額

2,500万円

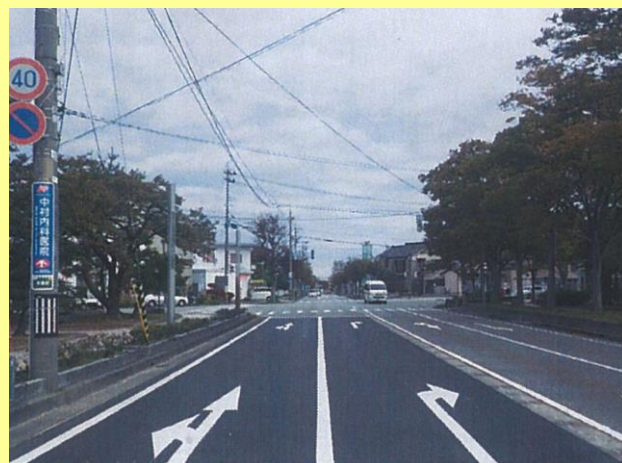
【拡】市道舗装費 5,000 万円

(前年度: 一万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

車両の通行に支障がないよう、また、町内会からの要望等に応じ市道の舗装整備を推進します。

- ・宮窪上小泉線外



財源

市の負担額

5,000万円

県道舗装改良負担金 500 万円

(前年度: 500万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

県において実施している道路改良・道路舗装・雪寒対策施設整備事業に必要な経費について、市が一部負担しています。

財源

市の負担額

500万円

江尻高月線道路改良事業費 6,000 万円

(前年度: 8,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

国からの社会資本整備総合交付金を活用し、市道江尻高月線の道路の拡幅や、新たに歩道を設置するなど、歩行者や交通の安全を図る道路改良事業を行います。

- ・江尻高月線道路改良事業（魚躬地内）



財源

国県支出金

3,300万円

借入金

2,430万円

市の負担額

270万円

土木費

中野島坪川線道路改良事業費 2,000 万円
(前年度:1,200万円)

(担当:建設課 道路河川係)
国からの社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者と通行車両の安全確保を図るため、踏切整備に合わせて道路の拡幅を行います。

- ・ 測量設計委託



財源	
国県支出金	1,100万円
借入金	810万円
市の負担額	90万円

【新】有金上島線道路改良事業費 2,000 万円
(前年度: 一万円)

(担当:建設課 道路河川係)
国からの社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者と通行車両の安全確保を図るため、歩道の整備を行います。

- ・ 測量設計委託



財源	
国県支出金	1,100万円
借入金	810万円
市の負担額	90万円



河川管理費273 万円
(前年度:273万円)

(担当:建設課 道路河川係)

河川の除草や川底に溜まった泥を取り除く作業を行います。また、電動水門の電気料等の支出や水門の操作を委託しています。

- ・電気料
(主な維持管理業務内容)
- ・除草、浚渫業務委託
- ・水門、用水等管理委託

財源

市の負担額

273万円

【拡】浸水対策事業費4,300 万円
(前年度: 一万円)

(担当:建設課 道路河川係)

豪雨時に水があふれる等、整備が必要な水路等の浸水対策を図ります。

- ・伝五郎川支線水路 水路改修
- ・四間町川河床整備
- ・柳原地内水路河床整備
- ・七夕川河床整備



河床整備状況

財源

市の負担額

4,300万円

【拡】河川改良費1,200 万円
(前年度: 一万円)

(担当:建設課 道路河川係)

災害に強い河川等とするため、治水・生活環境上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の環境改善を図ります。

- ・沖田川派川整備 (河川改修)
- ・鋤川安全施設整備 (フェンス整備)

財源

 国県支出金
市の負担額

 80万円
1,120万円
駅前広場管理費555 万円
(前年度:556万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

滑川駅前・駅南広場、中滑川駅前広場等の維持管理を行います。

- ・駅前広場管理費
滑川駅前・駅南広場 電気、水道料
滑川駅南広場・西滑川駅公衆トイレ 水道料
広場施設等修繕料
消雪工配管施設点検調整業務
電気設備点検業務
地下道エレベータ管理点検業務
地下道警備監視業務、清掃業務
公衆トイレ清掃業務

※あいの風とやま鉄道が消雪用パイプの保守点検料及び電気料について一部を負担しています。(16万円)

財源

 その他(消雪装置負担金)
市の負担額

 16万円
539万円

土木費

【一部新】都市計画策定費 200 万円 (前年度:350万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

中滑川駅周辺整備にあたり、都市計画決定されている駅前広場のエリアを変更します。

【新】・滑川都市計画決定変更業務

都市計画とは？

都市が健全に発展し秩序ある整備がなされるように、土地利用や都市施設の整備等に関して定められた「まちづくりのルール」です。そのルールを定めることで、暮らしやすい秩序ある都市をつくることを目指しています。

財源

市の負担額

200万円

【新】中滑川駅前再開発事業費 310 万円 (前年度:一万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

中滑川駅前周辺整備にかかる測量・設計を実施します。
また、民間事業者へ進出誘致活動等を行います。

【新】・中滑川駅周辺整備事業測量業務

・進出誘致活動、先進地調査

財源

その他（繰入金）

300万円

市の負担額

10万円

地籍調査費 461 万円 (前年度:110万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

平成29、30年度に実施した地籍調査の結果から作成した地籍図・地籍簿を縦覧し、法務局に送付します。

・地籍調査業務

(国庫負担金1/2、県負担金1/4)

地籍調査とは？

一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量します。その成果を法務局に送り、これまでの登記簿や地図が更新されることで、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立ちます。

財源

国県支出金

338万円

市の負担額

123万円

都市計画事務費 342 万円 (前年度:374万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

都市計画審議会・まちづくり審議会等を開催します。
市内を巡回パトロールし、禁止広告物の取り締りを行います。

・都市計画審議会、まちづくり審議会経費 9万円

・都市計画図作成業務 40万円

・屋外広告物禁止物件巡回パトロール及び撤去業務 26万円

・各種リース料（庁用車等） 52万円

・共同利用型設計積算システム負担金 157万円

財源

市の負担額

342万円

【一部新】都市計画街路整備事業費 500万円
(前年度:4,048万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

中滑川駅前周辺整備にあわせ、都市計画道路橋場国道線道路改良工事を実施し通学路の安全対策を推進します。

【新】・都市計画道路橋場国道線設計業務

【新】・中滑川駅前広場設計業務

都市計画道路とは？

市街地の道路条件の改善や計画的な都市づくりのために、都市計画の一環としてつくる道路です。

財源

その他（繰入金） 500万円

【新】行田公園整備事業費 3,250 万円
(前年度:-万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

行田公園と児童館の一体的な運用を目指して、未整備部分を芝生広場やビオトープなどの自然観察施設に整備します。

【新】にこにこ元気広場整備

整備面積0.5ha

芝生広場、園路、植栽など



財源

国県支出金 1,300万円
市の負担額 1,950万円

東福寺野自然公園管理費 866 万円
(前年度:967万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

東福寺野自然公園の維持管理を行います。

・指定管理料（文化・スポーツ振興財団）
675万円

・パークゴルフ場の芝生維持費
芝生の防除作業、芝生の維持管理作業など



財源

市の負担額 866万円

【一部新】公園管理費 8,703 万円
(前年度:7,115万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

市内各公園施設などの維持管理を行います。

- ・【新】ガーデニング等研修費 50万円
- ・維持管理費用 572万円
消耗品代、燃料代、電気水道代
公園施設や遊具の修繕代など
- ・トイレ汲取り代、浄化槽点検代 17万円
切手代、木くず処分代等
- ・都市公園等の維持管理 4,156万円
指定管理費及び各公園維持管理費等
行田公園株分け業務委託
- ・庁用車リース代など 29万円
- ・遊具等新設（更新）工事など 3,860万円
- ・公園用資材費（砂、碎石など） 15万円
- ・各協会会費 4万円

財源

国庫支出金 1,200万円
借入金 1,080万円
その他（繰入金） 1,000万円
その他（施設使用料等） 70万円
市の負担額 5,353万円

土木費

市街地空地空き家活用支援事業費 200 万円 (前年度:379万円)

(担当:商工水産課 商工労政係)

市街地の活性化を図るため、市街地における空き地空き家を有効活用し事業を始める事業者に助成します。

・市街地空地空き家活用支援事業補助金

200万円

市街地において空き地空き家を活用して飲食店、小売業を創業した事業者に対し、土地・建物の取得・改装費や賃貸料を助成します。



財源

市の負担額

200万円

まちなか居住推進事業費 600 万円 (前年度:700万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

定住人口の増加を図り、魅力ある活気に満ちたまちづくりを推進するため、まちなか(=人口集中地区)区域以外に居住する方が、まちなかにおいて住宅を取得される場合に助成します。

・まちなか居住推進事業費 600万円

補助率 金融機関等からの借入額の3/100
限度額50万円

※主な交付要件

- ◎住戸専用面積 75㎡以上
- ◎3年以上継続して居住される方
- ◎親族2人以上の世帯の入居

財源

市の負担額

600万円

民間宅地開発事業補助金 2,200 万円 (前年度:2,500万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

一定規模の宅地開発事業を行う際、公共施設整備に助成します。

・公共施設整備

- ・舗装 4,500円/㎡
- ・公園等の整備 1,900円/㎡
- ・植栽 14,500円/㎡
- ・道路側溝整備 16,100円/m
- ・防火水槽 200万円/基

・平成31年度予定住宅団地 3ヶ所

財源

市の負担額

2,200万円

市街地活性化推進費 9 万円 (前年度:13万円)

(担当:まちづくり課 まちづくり係)

市街地活性化推進協議会を開催し、旧町部の活性化対策を行います。

・市街地活性化推進協議会開催費用 8万円

・その他事務用品など 1万円

財源

市の負担額

9万円

空き家対策推進事業 920 万円

(前年度:922万円)

(担当:まちづくり課 空家対策係)

老朽化した危険な空き家について、解体除却の推進及び支援をすることで、市民の安全と安心を確保します。さらに、空き家等の適切な管理及び活用の促進を図るための対策や所有者への助言など、必要に応じて緊急安全措置工事等を実施します。

- ・危険老朽空き家の解体工事 1戸 200万円
- ・測量業務等 2戸 80万円
- ・危険な空き家の除却支援 5戸 250万円
(補助率1/2以内、上限50万円)
- ・空家等対策協議会開催費等 18万円
- ・条例8条に基づく緊急安全措置 50万円
- ・特別措置法第14条に基づく空家解体工事 300万円

財源

国県支出金	265万円
その他(回収費用)	50万円
市の負担額	605万円

緑化推進費 383 万円

(前年度:385万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

市内の緑化推進を図るために、各施設や花壇に花苗等の植栽を行います。

- ・研修費 1万円
- ・花苗代 169万円
市内各地区への花苗配布等
記念花壇等に花苗の植栽
- ・各花壇の水道料 6万円
- ・切手代など 3万円
- ・市内のフラワーポット等の維持管理費 46万円
- ・研修会会場代など 2万円
- ・地域の緑づくり推進事業 94万円
- ・球根及び花壇の材料代 42万円
小学校へのチューリップ球根配布等
- ・花と緑の緑化推進事業補助金 20万円

財源

国県支出金	148万円
市の負担額	235万円

ほたるいかプロムナード管理費 172 万円

(前年度:175万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

ほたるいかプロムナードの中央分離帯の植栽活動やポケットパークの維持管理を行います。

- ・花苗及び肥料代 42万円
- ・ポケットパーク電気料 37万円
- ・中央分離帯及びポケットパーク維持管理費 93万円



財源

市の負担額	172万円
-------	-------

21世紀桜のまち推進事業費 50 万円

(前年度:50万円)

(担当:公園緑地課 公園緑地係)

公共施設又は民有地において桜の植栽を行い、桜の花のまちづくりを目指します。
(目標21,000本)

- ・21世紀桜のまち推進事業 50万円
町内会や会社敷地に植栽する場合、
無料で苗木を配布します。



財源

市の負担額	50万円
-------	------

土木費

下水道事業費 5億9,241 万円 (前年度:5億6,782万円)

(担当:上下水道課 下水道総務係)

下水道事業会計において、使用料、受益者負担金(分担金)、国交付金、借入金などの収入で賄いきれない経費に充当するため、市の一般会計が資金の負担、補助及び出資を行います。

- ・公共、特定環境保全公共下水道事業に対する負担金及び補助金 5億5,357 万円
(収益的支出の減価償却費や企業債利息等に充当します。)
- ・公共、特定環境保全公共下水道事業に対する出資金 3,884 万円
(資本的支出の企業債元金償還金に充当します。)

財源

市の負担額 5億9,241万円

市営住宅維持管理費 1,525 万円 (前年度:1,529万円)

(担当:まちづくり課 建築住宅係)

市営住宅(荒俣住宅・シーサイド・タツ有磯・浜町住宅・サンコーポラス上小泉2・3号棟)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・住宅明け渡しに伴う修繕、クリーニング
- ・市営住宅修繕費用
- ・市営住宅敷地内除草業務
- ・受水槽清掃業務
受水槽の掃除を行い、衛生的な水質の維持管理に努めています。
- ・消防設備保守点検料
避難器具、消火器等の点検を行い、火災等の緊急時に備えています。
- ・荒俣住宅自動火災報知設備更新工事
- ・シャワー設置工事
- ・共用部分電気料、水道料
- ・火災保険料

財源

その他(市営住宅使用料) 78万円
その他(公営住宅火災共済機構補助金等) 7万円
市の負担額 1,440万円

【一部新】定住促進住宅維持管理費 1,816 万円 (前年度:1,041万円)

(担当:まちづくり課 建築住宅係)

定住促進住宅(サンコーポラス上小泉1・4号棟、吾妻、北野)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・住宅明け渡しに伴う修繕、クリーニング
- ・定住促進住宅修繕費用
- ・定住促進住宅住宅敷地内除草業務
- ・受水槽清掃業務
受水槽の掃除を行い、衛生的な水質の維持管理に努めています。
- ・消防設備保守点検料
避難器具、消火器等の点検を行い、火災等の緊急時に備えています。
- ・遊具保守点検業務
敷地内の遊具の安全確認を行っています。
- ・シャワー設置工事
- ・共用部分電気料、水道料
- ・火災保険料

【新】サンコーポラス吾妻再編に際し、入居者に移転していただく為の補償費

財源

その他(定住促進住宅使用料・共益費)1,016万円
市の負担額 800万円

雇用促進住宅購入費 1,603 万円 (前年度:1,623万円)

(担当:まちづくり課 建築住宅係)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から雇用促進住宅3宿舎(上小泉・吾妻・北野)を購入し、平成26年4月1日から市で管理しています。

その3宿舎の購入費を9回に分けて支払っています。平成31年度は6回目の支払いです。

- ・雇用促進住宅購入費の支払 6回目 1,603万円

《購入費》

サンコーポラス上小泉 3,978万円
サンコーポラス吾妻 6,802万円
サンコーポラス北野 6,364万円
合計 17,144万円

財源

その他(定住促進住宅使用料) 1,603万円

【拡】木造住宅耐震改修支援事業費 200 万円
(前年度:120万円)

(担当:まちづくり課 建築住宅係)

昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建住宅(2階建て以下)の耐震改修工事費用の一部を助成します。

対象となるのは、耐震改修に要する費用の5分の4(限度額100万円)です。

- ・木造住宅耐震改修支援事業
200万円(100万円×2戸)

※従前の制度より、補助率・限度額とも引き上げとなりました。

補助率 2/3→4/5

限度額 60万円→100万円

財源

国県支出金	150万円
市の負担額	50万円

